

o-ジクロロベンゼン

o-Dichlorobenzene

C₆H₄Cl₂

1. 別名

1,2-ジクロロベンゼン

2. 性質

液体 無色 芳香

- 分子量； 147.01 ● 比重； 1.297
- 蒸気密度； 5.07 ● 沸点； 179.2°C
- 蒸気圧； 0.13kpa (蒸気濃度0.13%)
- 下部引火点； 68°C ● 上部引火点； 103°C
- 爆発範囲； 2.2~9.2% ● 発火温度； 647.8°C
- 許容濃度； 日本25ppm
米国25ppm (TWA) , 50ppm (STEL)
- 管理濃度； 25ppm

3. 危険性・有害性

可燃性・爆発性； 火災・爆発の危険性あり。蒸気は空気よりも5倍くらい重く、低所に滞留しやすいため、
 厳重な注意が必要である。

人 体 へ の 影 響； 粘膜刺激作用がある。高濃度ばく露では、麻酔性は弱いだが、中枢神経抑制作用を示す。

4. 他の分析方法

ガスクロマトグラフ法 [NIOSH]

5. 用途及び発生場所

溶剤 (油脂, 樹脂, ゴム, セルロース誘導体) , 消毒剤, 伝熱媒体

6. 関係法令

安衛法 (リスクアセスメントを実施すべき危険有害物、作業環境評価基準)

安衛令 (名称等を表示・通知すべき危険有害物)

有機則 (第2種) 化審法、化管法、労働基準法

道路法 (車両の通行の制限)

消防法 (第4類引火性液体、第二石油類非水溶性液体)

海洋汚染防止法 (有害液体物質)

船舶安全法 (毒物類・毒物)

航空法 (毒物類・毒物)

輸送上の注意 (国連番号1591, クラス6.1, 容器等級 III)

7. 検知管の適用

